

◆第1回審査講習会

平成27年4月19日(日) 橿原公苑弓道場に於いて、主任講師吉本先生、講師に西浦先生、新司先生、西中先生をお迎えし、表記の講習会が行われました。

開会式で吉本先生より、中央審査受審に対する心構えについて話がありました。さらに、「教わる側の気配り、心配りを忘れず、時間の配分、流れを大切にすること、自分が今、何をすべきかを考えて行動して欲しい。」また、「班別研修では、射技、体配等の向上を図り、努力するように。」と挨拶をいただきました。

初めに、七段受審者(3名)と教士受審者(5名)の一次的射礼が行われ、入場から定め座までの移動で先頭の射手のリズムを掴み、全員がリズムを合わせる。射位から本座に下がる時、引き足は小さくすること。胴造りで弓の本弭は膝の外に置くようにすること。2名で行う一次的射礼では、2番が取り矢をして腰に執るころ1番が立つこと等の注意を頂きました。

次に、錬士受審者(12名)の持的射礼と六段受審者(4名)と一般参加(4名)の一手行射を行いました。

午後の吉本先生の講話では、先生の経験から、錬士になって世界が違って見えてきて、地連会長になって称号の自覚ができた。なって初めて気付く事がある。今後、日弓連でも品位の保持を高く掲げることになる。弓道人に相応しい品位品格、人間性の完成を求め、弓引きとしての心構えを常に持つことが必要となる。また、審査申込書には、受講歴や受審者連絡欄及び休会期間の欄も記入するように心がけること等話されました。

受審にあたり、「どうして受けるのか、改めて自身に問うてみましょう。」と締めくくられました。

その後、班別射技研修と仕上げの一手行射で講習会が終わりました。有意義な一日となりました。講師の先生方、本当にありがとうございました。

(指導部:松村 由喜子)

◆京都大会錬士の部で平洋介先生が準優勝

5月2日に開幕しました第66回全日本弓道大会にて、奈良支部の平洋介先生が錬士の部で見事、準優勝されました。

八寸的で決勝射詰め2人になるまで残られ、昨年、天皇盃優勝者との対決、固唾を呑んで見守る中、惜しくも的中を逃し決着しました。

今大会も各種別多数のご参加で大会を盛り上げていただきました。来年は大勢の入賞者が出るよう頑張りましょう。

(事務局:藤岡 順)

◆平成27年お城まつり弓道大会

4月5日(日) やまと郡山城ホール弓道場において「平成27年お城まつり弓道大会」を開催しました。今年も西中、西浦、阪中各先生方のご指導ご協力のもと、県下の愛弓家99名の参加を得て、採点性による競技会を実施しました。

競技結果は下記の通りです。

《参段以下の部》

一位:岩下春奈(天理大)、二位:斎藤文男(郡山)
三位:田中 智(天理大)

《四段以上の部》

一位:宮島裕也(橿原)、二位:平田和豊(錬弓会)
三位:乾光孝(蒼穹会)



各種別表彰者

(郡山支部:赤松 順次)

◆第64回住吉大社全国弓道大会

日時:平成27年5月1日(金)

場所:住吉大社特設遠の場

奈良県勢の入賞者は下記の通りです。

《学生男子団体の部》

優勝 天理大学 田中智、曾我部弘瑛、向本啓太
2位 天理大学 大古凌也、脇田政宏、檜尾涼

《一般男子団体の部》

3位 奈良県 新子修平、辻本元威、山口亮二

《学生男子個人の部》

4位 中岡稜(天理大学)
5位 永岡優輔(天理大学)
7位 脇田政宏(天理大学)

《学生女子個人の部》

4位 小川菜摘(天理大学)

《一般男子個人の部》

3位 山口亮二(奈良県)

◆平成27年度全国高等学校総合体育大会第60回全国高等学校弓道大会兼第68回近畿高等学校弓道大会県予選会

○団体1次予選 - 4月26日(日) 橿原公苑弓道場
通過校 [女子] 橿原高校、平城高校、畝傍高校
高田商業高校、郡山高校、奈良北高校
[男子] 西の京高校、奈良北高校、五條高校
高田商業高校、平城高校、奈良高校

○個人1次予選 - 5月5日(火) 橿原公苑弓道場
1次予選通過者 女子35名 男子45名

○個人団体2次予選 - 5月10日(日) 橿原公苑弓道場
2次予選通過者 女子9名 男子16名

≪個人決勝 射詰競射≫

[女子] 1位 吉仲 秋月 (西の京)
2位 伊藤 ゆり (平城)
3位 喜多 明優美 (五條)
4位 内山 知佳 (平城)
5位 渡邊 鞠子 (高田商業)
6位 西尾 智奈津 (高田商業)
7位 増田 夏紀 (磯城野)
8位 大高 裕香里 (登美ヶ丘)
9位 土谷 有紀 (西の京)
10位 大西 真央 (橿原)
(10位は4射2中の11名の射詰競射による)

[男子] 1位 高橋 晶太郎 (平城)
2位 松田 治親 (西の京)
3位 谷原 倭斗 (高田商業)
4位 吉井 凌也 (橿原)
5位 櫻井 蓮 (五條)
6位 前川 昂平 (橿原)
7位 阪本 誠弥 (王寺工業)
8位 太田 和輝 (奈良)
9位 小西 一輝 (橿原)
10位 森口 翔太 (橿原)

≪団体決勝リーグ戦≫

[女子] 1位 高田商業高校 4勝1敗 71中
弥富・松本・西尾・西・渡邊・吉満
2位 平城高校 4勝1敗 66中
伊藤・藤井・的場・長嶺・奥田・藤野
3位 奈良北高校 3勝2敗 57中
池林・八坂・堀江・高谷・紺田・谷

[男子] 1位 五條高校 3勝2敗 73中
櫻井・福岡・筒井・横田・辻本・山田
2位 奈良高校 3勝2敗 63中
下村・吉田・要川・太田・成田・相田
3位 高田商業高校 3勝2敗 54中
池田・庄島・栗巢・西村・谷原・松田

(右上へ)

男女とも個人1~4位と団体1・2位は、8月6~9日に吉野町で行われる全国高校総体に県代表として出場する。男女とも団体3位校は、6月21日に大阪城弓道場で行われる全国高校総体近畿ブロック代表決定戦に出場する。

また、個人1~10位と団体1~3位は、7月18~21日に兵庫県の東洋大姫路高校で行われる近畿高等学校弓道大会に出場する。
(高体連：川崎 敦子)

◆第12回奈良県中学校弓道錬成大会

日時 平成27年5月3日(日)

会場 橿原公苑弓道場

種目・種別 男女近的 団体戦及び個人戦

平成27年度の初めての大会が5月3日県立橿原弓道場において実施されました。天候もよく弓道の試合を行うのには上出来の1日でした。参加人数は男子73名、女子95名でした。結果は以下の通りです。

<個人戦>

男子	優勝 花瀬 翔一 (橿原)	優勝 宮繁 美優 (大成)
	2位 村上 心悟 (香芝)	2位 堀山 結名 (天南)
	3位 米田 琢人 (香芝)	3位 和田 菜花 (白樺)

<団体戦>

男子
優勝 香芝A (米田, 馬場, 石田)
2位 大成A (森井, 山並, 吉川)
3位 八木C (今西, 坂田, 西谷)

女子
優勝 大成A (宮繁, 田原, 小林)
2位 天南B (飯田, 奥村, 澤)
3位 香芝A (元持, 内田, 樋口)



(中体連：中前 芳一)

◆矢羽の使用に関する準則 運用説明会の報告

全弓連の「矢羽の使用に関する準則」が制定され、本年7月1日より適用されます。この準則の制定に到った経過報告と運用の説明会が4月28日に全弓連中央道場において開催されました。奈良より西中会長及び眞鍋財務副部長2名が出席しました。
以下の通り説明会の内容を報告致します。

1. 経緯の報告

平成26年2月に密猟による矢羽が取引されている疑いがあるとの情報が寄せられ、全弓連としてコンプライアンス（法令・社会規範の順守）の問題が浮上、調査委員会を立ち上げた。調査の結果、密猟事実の確認には至らなかったが、法令に抵触する取引の可能性は排除できないとして、今後の再発防止の重要性が報告された。また調査ではワシントン条約批准後の自然保護への要請に対する全弓連の対応が不備であった点も指摘された。この調査を踏まえ、平成26年7月に外部の有識者・弓道具協会関係者を含めて矢羽の使用に関するルール（準則）の制定に向けた委員会を設置し検討を進めた。平成27年1月に理事会の承認を得て準則を正式に制定、6月末までの準備期間を置き、平成27年7月1日より適用する。

2. 矢羽の使用に関する準則の説明

準則の運用マニュアルに基づいて、具体的な適用について説明及び質疑応答が行われた。準則は、単に違法（密猟）取引の排除のみを目的とするものではなく、自然保護と共生への社会的な要請を配慮すると共に、弓道の伝統文化を継承する事を併せ目的として制定している。この準則は、上部組織が上から違法性の取締りや指導を本旨とするものではなく、各人がこの目的の重要性の認識を深め、自らの理解・判断により、今後の矢羽の適正な使用を実現していくことを目指すものである。この趣旨を広く周知のうえ、運用して欲しいとの説明がされた。

3. 7月1日よりの矢羽の取り扱い要領

- 1) 全弓連、地連及び支部等が主催する審査・競技会・講習会における矢羽の使用は以下による：
- ①イヌワシ、オオタカ、クマタカ、カムリワシ、オガサワラノスリの矢羽の使用は可とする。但し、「矢羽の適正入手証明書」を作成し、携帯しなければならない。
 - ②オオワシ及びオジロワシの使用は禁止とする。
 - ③これ以外の鳥の矢羽の使用は可とし、証明書の作成は不要とする。

(右上へ)

2) 証明書は全弓連の指定様式により、矢羽の保有者が自己の判断により記入（自己申告）し、競技会等にあつては要求があれば提示できるように携帯する。

準則および関連資料は、5月1日付で全弓連のホームページに掲載されました。詳細はこの資料をご参照いただき、準則の目的・趣旨をご理解のうえ、対応を頂きたく、県連より報告と共にお願いを申し上げます。以上
(報告者：眞鍋 征史)

◆平成27年度香芝市選手権大会

平成27年5月10日（日）香芝市立香芝中学校弓道場において「平成27年度香芝市選手権大会」が開催されました。中学校男女38名、一般男女12名が参加し、少し汗ばむ陽気の中で四つ矢3回の12射による競技が行われました。

午前中は中村敬三先生が観戦にこられました。中学生の射を一人ひとりじっくりと見ては「中学生はうまい！宝物があちこちにたくさんあるねえ」と愉しそうに話しながらも時折見せる“指導者”の目が印象的でした。また時には先生から中学生に昔の話を交えながら少々ユーモラスに語りかける場面があり選手権ならではの一幕でした。

試合後の竹村先生の講評の中にも「中学生の迷いのない真っ直ぐな大きな離れはとてもよかったです。大人は見習いましょう」とおっしゃられていたのもとても印象的でした。

《結果》

中学生男子の部	優勝	米田 琢人、2位	石田 侑也、3位	北河原 公章
中学生女子の部	優勝	内田 光咲、2位	藤原 優花、3位	吉田 彩乃
一般男子の部	優勝	乾 光孝、2位	宮島 裕也、3位	西川 健一
一般女子の部	優勝	葛井 麻衣、2位	白井 礼子	(蒼穹会 牧浦信恵)

編集後記

新年度になり、中高の各種の競技会や県体に向けた各地域の選手選考を兼ねた大会が開催され、多くの投稿を頂きありがとうございます。紙面の都合上、一部来月号掲載とさせて頂きました、ご了解ください。

矢羽の問題につきましては、トレーサビリティ証明書(Word文書)を県連HPにもアップしてありますので、活用下さい。